

古河歴史見聞録

詩人の作法 追悼・粒来哲蔵展より

拝啓 粒来哲蔵様

先生が旅立たれてはや一年。今、2冊のノートを手にも、あらためて、先生の詩集に思いを馳せています。

昨年6月2日、胆管がんのため、古河在住の詩人・粒来哲蔵氏が逝去されました。

文学館では今年度のスポット展示で、「追悼・粒来哲蔵」と題したテーマ展を二期に分けて開催します。現在、第一期として「詩人の生涯」一篇を開催中ですが、今回は、その展示品の中から、興味深い資料を紹介いたします。

現代詩壇の巨匠

その前に、粒来氏の略歴に触れておきたいと思えます。

氏は昭和3年、山形県米沢市生まれ。母の影響で幼い頃から俳句・短歌に親しみ、旧制安積中学校時代には詩作に没頭します。このころ草野心平と出会い、強烈な影響を受けました。その後、福島師範

範学校を経て教員生活に入り、詩誌『歷程』の同人となって草野心平に再会。本格的に詩人として歩み始めます。

散文詩型の氏の作品は、「現代の寓話」と称され、非常に高く評価されましたが、決して難解な言葉が並んでいるわけではなく、むしろ、用いられる言葉は平易そのものに。それでいて、緻密な計算の上に堅固に構築された詩は、美しく、そして迫力に満ちています。

昭和35年、「舌のある風景」で土井晩翠賞、46年「孤島記」で現代詩人会日氏賞、52年「望楼」で高見順賞、平成14年「島幻記」で現代詩人賞、24年「蛾を吐く」で読売文学賞と数々の文学賞を受賞。平成15年には勲四等瑞宝章を



▲粒来哲蔵氏(1928～2017)

受章するなど、まさに、現代詩壇の巨匠といえる詩人でした。

詩人の作法 創作ノート

さて、冒頭に述べた2冊のノート。いずれも詩を書きつけた紙(原稿用紙だけでなく、便箋や封筒の裏側なども)が、見開きページごとに貼られています。なるほど、氏は詩を思いついた時に手近にある用紙に書きつけ、そして、それらの散逸を防ぐため、また、詩集の完成形をイメージしやすくするためでしょうか、1冊のノートにしていたと思われれます。

また、あるページでは作品のタイトルが並び、番号が振られています。氏が生前、「ただ詩を並べれば詩集になるんじゃない。野球の打順と同じで、順番それぞれに役割があるものだ」とおっしゃっていたことを思い出しました。

この2冊の創作ノートは、いわば粒来哲蔵の詩作法をうかがい知ることができ、貴重な資料といえます。



▲詩集『蛾を吐く』『侮蔑の時代』に結実した創作ノート「草稿集 死への傾斜」(右)と最終詩集のための「作品ノート」(左)

スポット展示へぜひ

今展では、これらの創作ノートのほか、自筆原稿はもちろん、文学賞の賞牌類や詩人仲間からの来簡、あるいは、自筆の書作品などの貴重な資料を紹介しています。ぜひとも、ご観覧ください。

「作品ノート」の表紙をめくると、「終りの幕はバサバサ」と「終幕編」という文字が目飛びこんできました。最後の詩集のタイトルはもう決められていたのですね。読みたかったなあ…

古河文学館学芸員 秋澤正之

【一般書/小説】

純忠

清涼院流水 著

織田信長より1年早く生まれ、長崎港を開き、領内の寺社を焼き払ったキリシタン大名、大村純忠。彼はなぜ、一度たりともぶれることなく己の信念と信仰を貫いたのか。稀代の戦国武将、大村純忠の波乱万丈の生涯を描く。 出版社…WAVE出版

【一般書/動物学】

道具を使うカラスの物語

パメラ・S・ターナー 著

道具を使ってカミキリムシの幼虫を食べるニューカレドニアのカラスは、どのように道具の使い方と作り方を学ぶのか。道具を使用する際、脳のどの部分を使っているのか。カラスの知能の神秘を解き明かす。著者へのQ&Aも収録。 出版社…緑書房

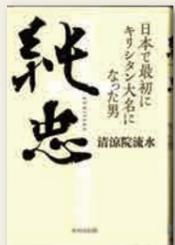
図書館の本棚から

【児童書/読み物】

魔法学校へようこそ

さとうまきこ 作

小学4年生の圭太の目の前にあらわれた、動く矢印。追いかけた先にあったのは、なんと魔法学校！ 圭太は、生徒として選ばれたリッチと紅子とともに魔法を学ぶことになったが…。ハートフルファンタジー。 出版社…偕成社



【絵本】

おさんぽだいきょうそう

三池悠 作

ぼくとばあばの気ままな散歩。ぼくの方が歩くの速いよ。押し車ならばあばが速い。ポチに乗ったぼくの方が速い。だちょうに乗ったあばが速い。気ままな散歩がいつの間にか…。見返りに動物と乗り物の速さを比べるグラフあり。 出版社…偕成社

三和図書館

出版社…緑書房



提供：三和資料館

1926(大正15)年5月に挙行された幸島村役場上棟式の様子です。同年12月5日に庁舎が竣工したときには、仮装行列なども繰り出し、盛大な開庁式が行われました。大谷石で造られたこの建物は、老朽化により1975(昭和50)年に取り壊されました。跡地には常陽銀行三和支店が移転し、現在に至っています。

古河 今昔物語

Time Travel Photograph

